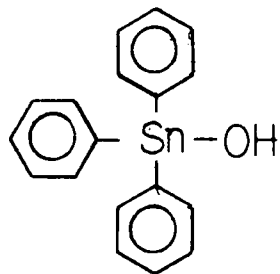


分解度試験報告書

- | | | | |
|--------|----------------------------|-----|-------|
| 1. 試料名 | 水酸化トリフェニル錫
(試料No K-643) | | |
| 分子式 | $C_{18}H_{16}OSn$ | 分子量 | 367.0 |
| 構造式 | | | |



同 定 赤外分光光度計 (付図-4 参照)

性 状

外觀 白色粉末

融 点 $117-119^{\circ}\text{C}$

純 度[※] 97.5%

(不純物* テトラフェニル錫 1.0% 酸化ジフェニル錫 1.0%, 塩化トリフェニル錫 0.4%)

* 提供資料による

溶解性

対水 1 ppm 以下 (TOC 計による)

対 メタノール, クロロホルム, トルエン, イソプロパノール
1000 ppm

2. 試験期間 昭和57年4月1日～昭和57年5月7日

- ### 3. 試験方法及び条件

環保業第 5 号

藥 発 第 615 号

49 基局第 392 号

微生物等による化学物質の分解度試験による

- ### 3.1 試験条件

- (a) 生分解試験条件

- (1) 微生物源：標準活性污泥 30 ppm

- (2) 供試物質濃度：100ppm

- (3) 試驗期間：28日間

- ### (b) 試驗裝置

閉鎖系酸素消費量測定装置 標準型

- ### (c) 試料の採取

供試物質を天秤で30.0mg精秤し各培養ビンに添加した

- (d) BOD測定装置へのセット状況

	状 況	pH
仕 込 時	供試物質は溶解しなかった。	—
途 中	—	—
終 了 時	汚泥の増殖は見られなかった。 供試物質は懸濁し、液は白色を呈した。	—

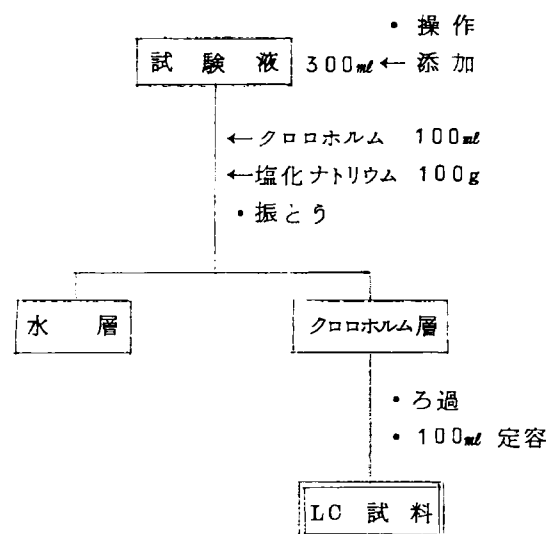
- ### 3.2 直接定量分析

- (a) 使用分析機器及び条件

高速液体クロマトグラフ

型 式 C B O 組立
 カ ラ ム 8 mm ϕ \times 0.25m , ステンレス
 固 定 相 Li Chrosorb Si-60
 溶 離 液 0.03% 酢酸 / クロロホルム
 波 長 260 nm
 検 出 器 UV

(b) 分析試料の前処理



4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	0	1	—
LC による結果	3	2	1

7 日目のアニリンの分解度 69%

図-1

No.

Date 4/2 ~ 4/30 19 82

Test Temp. 25 °C

Model Coulometer No. 224

Range 250 ppm × 1

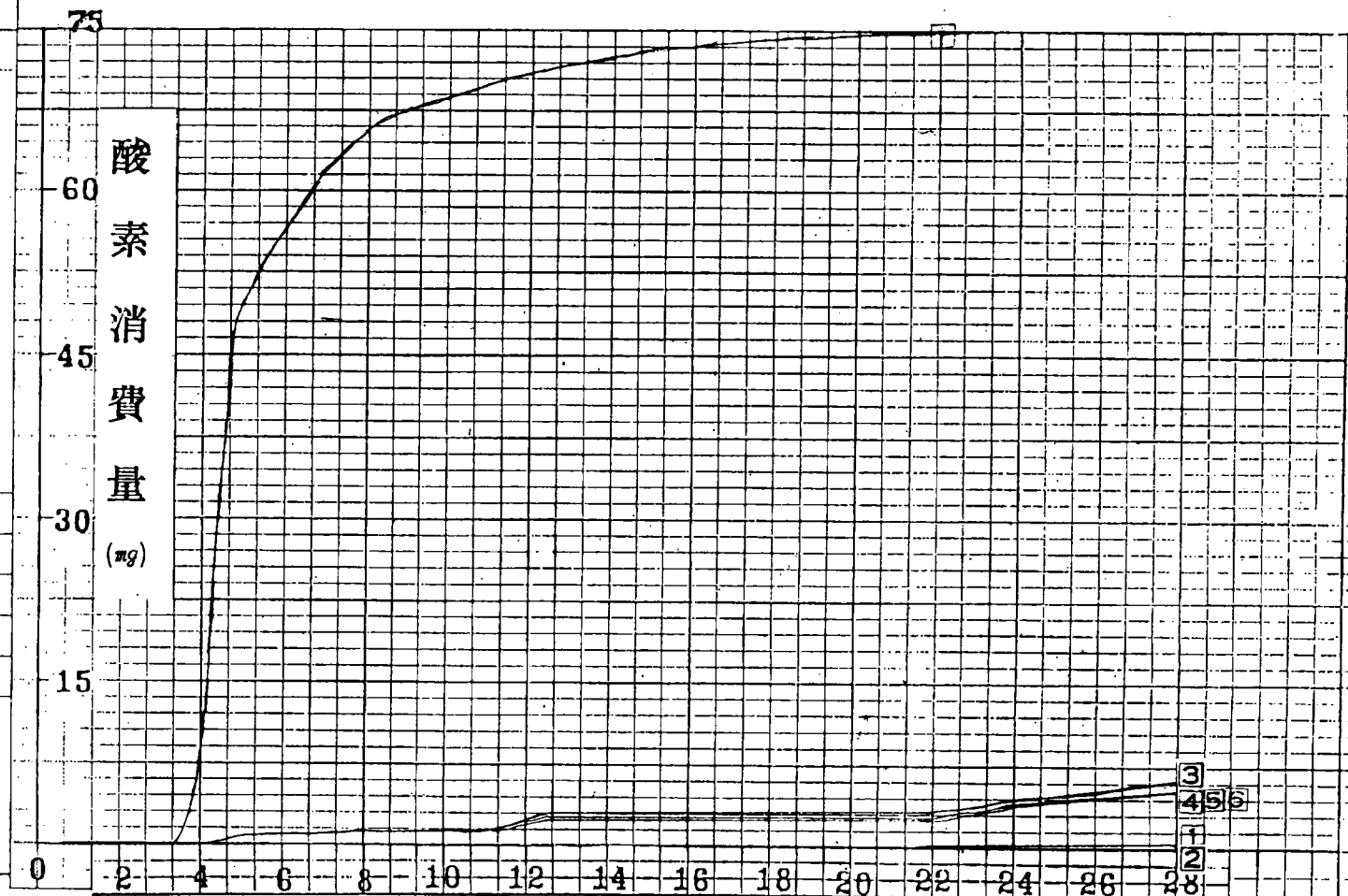
Chart Speed 2 mm/h

Sample	Sludge (ppm)
1 アニリン (100 ppm)	30
2 水 + 試料 (100 ppm)	—
3 基礎呼吸 (— ppm)	30
4 汚泥 + 試料 (100 ppm)	30
5 汚泥 + 試料 (100 ppm)	30
6 汚泥 + 試料 (100 ppm)	30

Note: K-643

水酸化トリフェニル錫

Operator XXXXXXXXXX



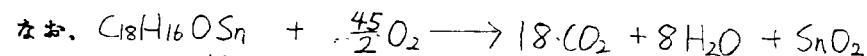
(財)化学品検査協会化学安全センター

$$\text{分解度} = \frac{\text{BOD} - \text{B}}{\text{TOD}} \times 100 = \frac{-1.2}{58.8} \times 100 = -2\% \Rightarrow 0\%$$

ただし

$$\text{BOD} - \text{B} = \frac{[4] + [5] + [6]}{3} - [3] = \frac{5.2 \text{ mg} + 5.4 \text{ mg} + 5.4 \text{ mg}}{3} - 6.5 \text{ mg} = -1.2 \text{ mg}$$

$$\text{TOD} = 1.92 \times 30.0 \text{ mg} = 58.8 \text{ mg}$$



$$\frac{\frac{45}{2}\text{O}_2}{\text{C}_{18}\text{H}_{16}\text{OSn}} = \frac{720.0}{367.0} = 1.96$$

7日目のアニリンの分解度 69 %